

交通安全情報

鹿児島県警察本部 高齢者交通安全支援室
電話 099-206-0110

令和8年 10号

●県内の交通事故（令和8年9月末現在、概数）

	発生件数	死者数	負傷者数
発生状況	1,708	22	1,905
高齢者事故	775	12	378
前年同期比	-91	-6	-16



※高齢者事故発生件数は、高齢者が関連する全事故件数です。



高速道路での事故防止

秋の行楽シーズンです！

高速道路を利用する際は、次のことを実践しましょう！



① 事前の準備を万全にしておく

高速道路を走行する前には、タイヤの状態を確認するなどの点検・整備はもちろん、燃料の補給といった事前準備をしっかりと行いましょう。また、渋滞に備えて、ゆとりのある運転計画を立てておきましょう。

② 休憩時はストレッチを行う

高速道路での運転は、疲労が蓄積しやすいため、こまめに休憩することが大切です。

休憩時にはストレッチを行いましょう。コリやハリをほぐすとともにリラックス、リフレッシュ、血行促進の効果が期待できます。



③ 故障等で駐停車する場合は、停止表示板等を利用する

車の故障等による停車中に、後続車に追突されるおそれがあります。やむを得ず道路上で駐停車する場合は、発煙筒や停止表示板等を使用して後続車に注意を促しましょう。

④ 高速道路から降りる際はしっかり減速する

長時間高速走行を続けていると、感覚が麻痺して、ランプウェイなど曲がり切れずにガードレールに衝突する危険があります。

高速道路を降りるときは、スピードメーターを確認してしっかり減速しましょう。



歩行中の交通事故状況

下のグラフは、令和7年中の県内における夜間歩行中に発生した、交通事故の件数をグラフにしたものです。

グラフを見ても分かるとおり、**日没時間が早まる10月頃から、夜間歩行中の交通事故が増加している**ことが分かります。

外出するときは、反射材用品や明るい目立つ色の衣類等の着用に心掛けるとともに、夜間の不要な外出は控えましょう。

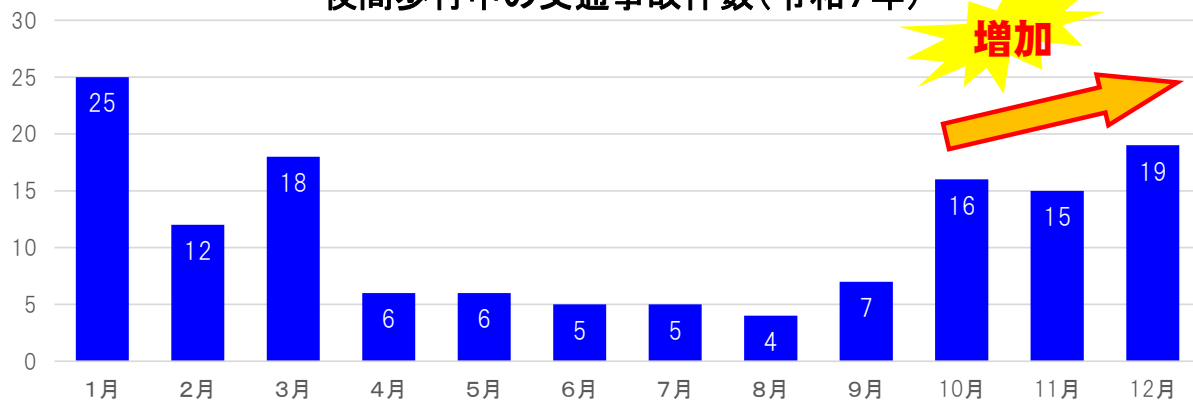


車両等を運転されるみなさんは、夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用に努めましょう。

道路を横断する際は、横断歩道を利用し、近くに横断歩道がない時は、見通しのよい場所を渡りましょう。

渡れるかどうか迷った時は、無理して渡らずに、車が通り過ぎるのを待ってから、安全に渡りましょう。

夜間歩行中の交通事故件数(令和7年)



★3 (サン) ライト運動★

交通事故防止を図るために

- ①夕暮れ時の早めのライト点灯
- ②原則上向きライト点灯
- ③トンネル内ライト点灯

の3つのライト点灯に関する習慣を心掛けましょう!

